

大江卓 たけあき 社會事業家、漢詩人。弘化四年九月二十五日土佐國幡多郡宿毛生れ、大正十年九月十一日歿（八四七—九二）。舊齋原、蒲籬秀馬、治一郎、土井（居）卓造。號因是、天也、揚鶴、敬鶴居士、月台。幕末薩援隊に入り倒幕運動に参加する。維新後兵庫縣、民部省、工部省出任。この間の明治四年「織多非人廢止運白書」を提出。翌年神奈川縣權令。在任中。ル一船ワリヤ・ル一ノ號事件を支那人奴隷を解放。西南役は林有造等と擧兵を企て禁獄十年の刑を受けた。二十一年後藤象二郎の大同團結運動に参加、二十二年第一期衆議院議員、二十五年東京株式取引所會頭等實業界に轉じた。晩年帝國六公道會を興じ、また小説事業に努めた。豫く詩文を能くす。

著書『揚鶴詩稿』（明治二十九年五月）『白上村才六刊』等。

